

出会いを生み、出会いで生まれた

長橋けい一 3期 12年 の実績



「いのちと未来」に真剣 都立大塚病院に 児童精神科外来を開設

都立大塚病院に発達障害など、子どもの心に関わる診療を行う「児童精神科外来」が開設されたのは2009年10月1日。以来、多くの親子を支えています。

開設のきっかけは、長橋けい一都議と発達障がい児の母親との「出会い」でした。長橋都議は04年にその声を聞き公明党国会議員と連携、同年12月の「発達障害者支援法」の成立を後押ししました。

さらに、長橋都議は東京都議会でもこの問題を取り上げ、発達障がい児への支援を行うセンターの増設・拡充を要請。児童精神科外来の開設へと導きました。

東京都の発達障がい者への支援は進み、今年2月に「子供家庭総合センター（1ページ目参照）」

一人の声を国へ、東京都へ！

4月に、都内の4区市の小学校で発達障がい児を対象とした特別支援教室の開設も。
一人の声から国政、都政を動かし、支援の取り組みを大きく広げました。



都立大塚病院の児童精神科外来棟



長橋都議は発達障がい者への支援拡充に粘り強く取り組んでいる

「元気な街」に真剣 サンシャイン周辺の バリアフリー化

池袋のシンボルのサンシャインシティ周辺の歩道に音声信号機と視覚障がい者誘導用ブロック（点字ブロック）が設置されました。

きっかけは、サンシャインシティ周辺に音声信号機や点字ブロックのない場所が多く、視覚障がいのある通勤者が身の危険を感じていると、長橋都議が聞いたことでした。

すぐに長橋都議は、その通勤者と一緒に通勤路を歩き、点字ブロックの設置状況などを調査し、都に設置を要請。また公明党豊島区議団もバリアフリー化を急ぐよう議会で訴えるなどしてきました。



設置された点字ブロックと音声信号

「長橋さんの行動のスピードは速い！
いろいろな人の話を聞いてもらって、さら
により街づくりを達成してもらいたい」
(視覚障がいのある通勤者)

このほかにも実現!

- ◆商店街の街灯のLED化への補助事業
- ◆中小企業の経営相談の拡充
- ◆新卒者相談窓口の機能強化
- ◆障がい者のチャレンジ雇用の延長と受け入れの拡大



JR池袋駅で行われた帰宅困難者対策訓練=2012年2月3日

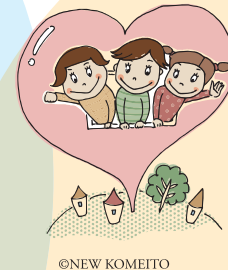
「防災・減災」に真剣 大震災時の混乱を防ぐ 帰宅困難者対策 条例の制定

東日本大震災では、多くの帰宅困難者が発生し、JR池袋駅周辺などで大きな混乱が起こりました。

この経験を踏まえ、東京都議会公明党は帰宅困難者対策条例の制定を推進。企業への水と食糧の備蓄要請、外出中に地震に遭った人が利用できる一時滞在施設の確保などを進めます。

このほかにも実現!

- ◆道路・橋・上下水道の耐震化



「被災地の明日」に真剣

福島の再生、東北の復興こそが日本再建の力です。東京だけでなく、被災地が「笑顔」になる支援をリードしてきました。

実現しました!

- ◆被災地の地域経済を支援する「被災地応援ツアー」
- ◆被災地の農業団体と連携して都内で物産展を開催
- ◆被災地の子どもたちの夢と希望を育むスポーツ交流事業

「都立病院の中に、このような科ができるというのは本当にものすごく大変なこと。情けに深い部分をずっと持ち続けてこれからも是非よろしく願っています」
(発達障がい児を持つ母親)

このほかにも実現!

- ◆がん検診の無料化の拡充
- ◆子宮頸がんワクチンの中学生への全額助成
- ◆不登校、いじめ対策として「スクールカウンセラー」の豊島区の全公立小中学校への配置
- ◆妊婦検診への助成を14回に大幅拡充

